

委員の皆様への委員長からのごあいさつ

令和3年6月11日

円山川水系自然再生推進委員会

委員各位

円山川水系自然再生推進委員会

委員長 藤田 裕一郎

皆様こんにちは。昨年度に引き続き委員長を務めさせていただいています藤田です。委員各位には日頃から円山川水系の自然再生にご理解ご協力を賜り感謝しております。梅雨入りの早かった今年、その最中ながら早くも暑さが厳しくなっておりますが、委員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、現情勢において、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）については、相次ぐ変異株の出現もあって、全国各地を対象に緊急事態宣言の発出・まん延防止等重点措置の適用など、対策が継続されていて、全く予断を許さない状況が続いております。

一方で、国・県が行う河川等の維持管理及び危機管理に関する河川事業は、近年相次いでいます大規模水災害を鑑みましても、継続して実施し安全・安心を担保していく必要があるものとするに異論はないと存じます。第21回円山川水系自然再生推進委員会もその一環としてできるだけ速やかに開催すべきものと考え、先日ご案内を差し上げましたとおり、接触機会を最小限にしました持ち回り方式にて開催させていただきたく、ご協力のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

今回は、中郷遊水地下池事業において目標とすべき創出環境とそれに関係します本川との連続性や取水の位置・高さ等についての技術部会での審議内容、令和2年度のモニタリング調査結果及び令和3年度のモニタリング調査計画案、更に今年度技術部会で審議いただく工事予定等の事項、を議題としてご審議をお願いいたします。

送付いたしました委員会資料は、委員会終了の後、直ちにご指摘に沿った軽微の修正を加えて豊岡河川国道事務所のホームページに掲載いたします。また、委員各位から頂きましたご意見等につきましても、それに対する事務局の回答とともにできるだけ早く取りまとめ、ご確認を頂いた後同様に掲載いたします。これらによって、公開での委員会開催の原則に応じられるものと判断しております。

円山川水系の河川における生態系の多様性の保全・再生・創出のために実施されています自然再生計画の施策のさらなる推進に係わる各種の検討事項につきまして、様々な観点からご審議、ご助言くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

末尾ながら、委員各位におかれましても、COVID-19にはくれぐれもご注意ください。この緊急事態を乗り切られますようお願い申し上げます。以上ご挨拶といたします。